

Easter Village

イースタービレッジだより 第62号



明日への飛躍！

A L S について

フィリピンでは日本と大きく違うことの一つに、「子どもの数」がある。町中子どもたちが溢れている。日本とは全く違う風景だ。25歳以下が人口の半数と言われている。フィリピンは昨年、すでに一億人を超えている。

そうなる問題なのは学校だ。人数が多すぎて教室が間に合わず、午前と午後に分けて授業をする学校も多い。教科書も数人に一冊という現状もある。子どもが多すぎて悩んでいるのは、日本からすればうらやましい限りだが、教育の大切さは認識しつつ、その対応に追われている。

しかし、もつと可哀そうなのは、その学校にも行かない、行けない子どもたちだ。貧困故、働かせられている子どもたち、ストリートでの暮らしに慣れ、学校に行かなくなった子どもたち等だ。イースタービレッジに来る子どもたちも、12歳で入ってきた初めて学校に通わせてもらったなどという子どももいた。それまで学校に行く機会を奪われていた子どもたち。スタートが遅いとゴールも遅いという悪循環がある。例えば12歳で小学校一年生だと高校を卒業する時には24歳ということになる。

そこでフィリピン教育省が始めたのがA L S (Alternative Learning System 代替教育制度)と呼ばれるものだ。週に二回と限られてはいるが学年の遅れている子ども、学校に行っていない子どもたちたちのために特別授業を行い、年に一度、10月の試験をパスすれば飛び級のチャンスを得られるというシステムだ。この受験に備える授業をしているのだ。

今年から、このA L Sの教室をイースタービレッジで提供している。ビレッジの子どもも参加しているし、今後のことも見据えていることだ。

イースタービレッジの視点はいつも「排除されている側」であることを再確認している。

祐川郁夫神父

収穫祭

イースタービレッジのあるミンダナオ島キダパワン市では毎年8月に Tinuppo (ティンポッポ) と呼ばれる収穫祭が開かれます。年間を通して様々なフルーツの採れるフィリピンですが、この地域ではこの季節が一番多くの種類の果物を収穫できるそうです。

そしてEVの敷地内にあるフルーツの木々も一斉に実をつけ始め、ココナッツ、ドリアン、グアバ、ジャックフルーツ、マンゴステイン、サントール、中でも特にランブータンが今年は大くさんの実を实らせました。



野生のココナッツジュース



ランブータンはライチに似た果物です



ホーム裏手のランブータンの木 数年に1度たくさん実をつけます



南国の自然の中でみんな育ちます



収穫したら早速いただきます



ドリアンの木の下で

畑

フィリピンではフルーツよりも野菜の方がどちらかというと値段が高いです。ビレッジでも昔からできるだけ自活しようと畑作りを試みて来ました。

現在進行中のものとは別に、子供たちとも畑を作ってみようということして、ホームの裏庭に小さな畑を現在開墾中です。まずはナスあたりからトライしてみようと計画しています。



ジュンジュンしっかりと腰が入っています

EVの昨日今日

訪問者

7月23日、2015年エクスポージャーに参加した佐藤里帆さんが、3年ぶりにビレッジを訪ねてくれました。

1週間弱の滞在でしたが、毎日子どもたちとよく遊んでくれて皆大喜びでした。

3年前のプログラムとは違う、フィリピンのゆつたりとした日常を感じてくれたことと思います。

またいつでも遊びに来てくださ



3年前のエクスポージャー時の写真
今回みんなとの再会を果たしました



朝は車で学校まで見送りです



キッチンでみんなとおしゃべり



別れの朝に



朝夕のお祈りも一緒にしました



EV敷地内にはチャペルがあります

8月9日に創立16周年を迎えたイースタービレッジを祝してお祝いのパーティーが開かれました。

祐川神父が司式する感謝のミサのあとは、グループ別で歌やダンスを披露します。その後はみんなお待ちかねのご馳走の時間です。今年はフィリピンのお祝いには欠かせないレチョン・パボーイ(豚の丸焼き)も用意されて、とても豪華な夕食となりました。

創立16周年



イースタービレッジ自慢の大きな中庭でパーティーです



みんなでジャンプ！17年目もきっといい年になりますように



マージェイラとラン

遠足
8月に祐川神父がビレッジに帰って来た際に、せっかくなのでみんなで遊びに行こう、ということになりました。
いつも行くプールは予約が取れなかったので、少し離れたマルティネスという遊興施設に行きました。
久しぶりのプールということもありみんな前日から楽しみにしている様子で、当日にはスタッフや奨学生、その他の人達(?)も含めて総勢50人近くまで人数が集まり、大所帯での遠足となりました。
子供たちはクタクタになるまで遊んで、帰りの車ではみんな見事に爆睡でした。



前日から50人分の食事の準備をしていました。みんなよく食べます
Easter Village 5

まだ少し水が怖いジョシュア

誕生日おめでとう

6月から8月までに誕生日を迎えた子供たちを紹介します。

まず6月生まれは奨学生のガマイ。28日で23歳になりました。彼は兄のジョセフとテニスの球拾いをしながら小銭を稼ぎ、家族の生計を助けていました。ビレッジに来てからは子供たちにテニスを教えてくれています。今はジエネラルサントスという街で職業訓練を受けている最中で、卒業はもう間近です。

7月は24日にランが14歳に、30日にはマージェイラが9歳、ビビが23歳になりました。ビビはついに来年大学卒業を控えており、同時にイースタービレッジも卒業ということになります。サポーターの方々には彼女の歌声を聞いたことのある方もいることと思いますが、社会に出て忙しくなっても、どうか歌い続けて欲しいと願っています。

8月生まれは1Lプログラム(大きな子供たち)のメンバーのアイミで、29日に21歳になりました。彼女も大学卒業を来年に控えており、今はその準備のため忙しい毎日を送っているようです。

時の流れは早いもので、来年にはベルナも含め3人がビレッジから巣立っていきます。どうか彼女らの未来に祝福がありますように。



ガマイは全国クラスの大会にも出場経験のあるテニスプレイヤーです



ジョセフとガマイ



7月生まれのマージェイラとラン。嬉しそうです



ビビ23歳



アイミの誕生日パーティーの様子。大学卒業に向けて頑張っています



お別れ

8月までにイースタービレッジから3人の子供が親元へ帰れることになりました。

エンジェルとガリーの姉弟は短期の滞在でしたが、とても愛嬌のある性格で周りを明るくしてくれました。

ジョシユアは祐川神父が名付け親の子供で、生まれてすぐにビレッジに来ました。約5年間ここで育つたことになりました。

送り出す側はいつも少し寂しい気持ちにもなりますが、3人とも満面の笑顔で施設を去っていきました。彼らのこれからの幸せを願っています。



仲良しの3人でした



ビレッジでは本当の家族や兄弟のように育ちました



これから新しい生活が始まります

イースタービレッジ

CDアルバム第2弾

フィリピンで歌われている曲や祈り、イースタービレッジオリジナルソング、また勝谷太治司教のオリジナル曲のイースタービレッジバージョンなど全14曲を収録。

施設のチャペルで録音された子供たちのイノセントな歌声や、イースタービレッジの歌姫ビビの美しい歌声など、前作よりもさらにスケールアップした音楽が聴く者の心を揺さぶります。

CDの受付・問い合わせ

カトリック月寒教会CDアルバム係り

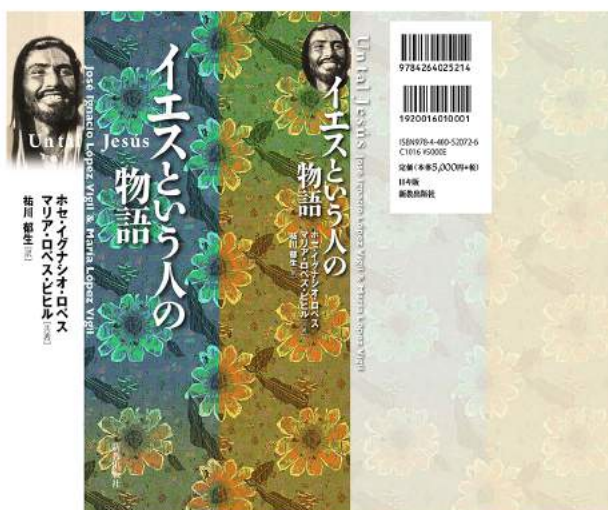
TEL: (011) 851-2032
FAX: (011) 851-2044
E-mail: ako.martha@gmail.com

また、iTunesやグーグルミュージック、ラインミュージックでもオリジナルソングを配信中。各サイトで"eastervillage"で検索。

追加出版のお知らせ

『イエスという人の物語』は2014年クリスマスに出版されましたが、この度、第二版が出されることになりました。144章、日本語でも千ページを超える作品ですが、地道にファンを増やしてきました。

ラテンアメリカで話題を呼んだラジオドラマに基づくイエスの物語で、読者は知らず知らずのうちに、当時の普通の生活や習慣、社会状況を理解することになります。勝谷司教の推薦をいただいています。ご注文はCDと同じく月寒教会まで。





16年間のご支援に感謝を込めて!

《支援のお願い》

フィリピン南部にあるイースタービレッジ・ミンダナオは善意ある日本の皆様に支えられています。貧困と紛争の犠牲者となっている声なき子供たちを私たちが支え、そして彼ら自身が自立し、貧困と紛争を取り除く平和の使者となるようにできるだけの援助をしたいと考えています。与える以上に受けるものの方が本当はもっと多いのです。援助をくださる方は下記事務局にご連絡くださいませ。

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」支援者募集

■代表 勝谷 太治 ■事務局 西田 淳子 松川 厚明

住所

060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 カトリック札幌司教館内
「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」事務局

Tel 011-241-2785 Fax 011-221-3668

支援金 : 年会費一口 ¥5,000(一口以上) 一般寄付

郵便振替口座番号 : 02760-3-39473

口座名称 : イースタービレッジ・ミンダナオを支える会

現地事務局 : EASTER VILLAGE OFFICE

Address : Riverpark Subd., Kidapawan City 9400 Cotabato Philippines

Tel/Fax : 63-64-577-3118

Email : info@eastervillage.com

Website : http://eastervillage.com



特記

会員、並びに奨学生を支えて下さっているスポンサーの方々、一般のご寄付をくださった方々には継続してこのたよりを送らせていただきます。(年4回)

2018年9月 「イースタービレッジだより62号」 編集者：祐川真謙 編集責任者：祐川郁生